

事務事業名	南湖第一保育所保育活動費		所属部局	保健福祉部		単位番号	5169				
			所属課室	南湖第一保育所		課長名	五味たけみ				
			所属担当			担当者名	五味たけみ				
基本政策	基本計画体系		快速で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
		17	社会福祉の充実		☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業						
政策		28	児童福祉の充実	事業区分	☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業						
施策			☐ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 年度）		法令根拠								
	☐ 期間限定複数年度（ 年度）										
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 保育所嘱託医報償、講師謝礼、職員旅費、教材等消耗品、世代間交流事業食料費、保育証書等印刷代、教材・器具等修理代、給食賄い費、児童ぎょう虫等検査料、職員検便検査料、バス借上料、職員研修負担金 児童保育に関わる運営経費 児童数の増加、減少が影響する。			事業費の主な内訳（22年度）							
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
				報償費	196	負担金補助及び交	40				
				旅費	10						
				需用費	5,502						
				役務費	179						
				使用料及び賃借料	6	計	6,137				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	入所式・検診・風づくり・夏祭り・運動会・遠足・発表会・細菌検査・職員研修・保護者研修会・親子レク・祖父母交流会
23年度活動予定	入所式・検診・風づくり・夏祭り・運動会・遠足・発表会・細菌検査・職員研修・保護者研修会・親子レク・祖父母交流会
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	
入所児童・保育所職員	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
保育理念を元に保育指針に沿った保育をうける。健やかに育つ	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
福祉の充実	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 予算額	
イ 各種事業数	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 児童数	
イ 保育所職員数	
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 卒園児童数	
イ 保育所職員数	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 保育所に満足している保護者数	
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	7,015	6,137	5,325	5,117	5,117		
	事業費計 (A)		千円	7,015	6,137	5,325	5,117	5,117	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	4	4	4	4			
		延べ業務時間	時間	2,208	2,208	2,208	2,056	2,056			
		人件費計 (B)	千円	9,850	9,850	8,748	8,146	8,146	0	0	
		(A) + (B)		千円	16,865	15,987	14,073	13,263	13,263	0	0
活動指標		アイ		7,015.0	6,137.0	5,325.0	5,117.0	5,117.0			
		ウ									
対象指標		アイ		68.0	72.0	60.0	61.0	61.0	0.0	0.0	
		ウ									
成果指標		アイ		20.0	21.0	17.0	13.0	16.0	0.0	0.0	
		ウ									
上位成果指標		アイ		47.0	64.0	54.0	52.0	52.0	0.0	0.0	
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和28年4月に創設され、昭和54年に新築された。西南湖・和泉・田島からの児童を受け入れ、一時期天神団地・リバータウンの児童増加があったが、少子化が進み児童が減少している。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	社会情勢の変化とともに、保育ニーズの多様化、保育所の責務の重責それに伴う保育士の資質向上のための職員研修の積極的な必要性が求められる
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	保育所、園庭開放の希望があった。地域との老人との交流の誘い。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている 【内容！】 ☐ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	外部研修を職員に伝達する研修報告会を設け、資料の全員文コピーや担当のレポート、説明等を行い、保育士の知識、技術の向上、又保育士の自己評価から、保育士の資質向上に努めた。
H 22年度に実施した改革改善の内容	・保育士の自己評価、保育所評価 ・研修報告会 ・行事の見直し ・保育所での保護者研修会の実施

事務事業名	南湖第一保育所保育活動費	所属部	保健福祉部	所属課	南湖第一保育所
-------	--------------	-----	-------	-----	---------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 適切である 【理由↓】	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある 【理由↓】 ☒ 向上余地がない 【理由↓】	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 公平・公正である 【理由↓】	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	市内の臨時職員数が正職員数より多く、ほぼ同様な業務をこなしているが、報酬の面で不公平さを感じていると思う。今後積極的に、保育士の資質向上を図るには、臨時職員の向上心に委ねられると思う。向上心、人間性、保育技術から判断した臨時職員からの正職員の採用を希望したい

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☒ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☐																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について 正職員の採用を希望したい。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					